

報道関係者各位

2011年8月19日(金)



ESRI ジャパン株式会社
プレスリリース

今、日本がチェルノブイリ原発事故から学ぶこととは？当時の政府科学顧問来日 「放射能モニタリング&マッピングセミナー」開催【急遽増席決定！】

GIS(地理情報システム)ソフトウェア国内最大手の ESRI ジャパン株式会社(※1)(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:正木千陽、資本金:5千万円、以下 ESRI ジャパン)は、8月25日(木)に「放射能モニタリング&マッピングセミナー」を開催することを発表します。(※1 テクノシステムリサーチ調べ)

本セミナーでは、講師にチェルノブイリ原発事故時に政府の科学顧問として活躍された経歴を持ち、現在は 米国 Esri 社の上級研究員である Dr.Konstantin Krivoruchko 氏と、空間統計の専門家である慶應義塾大学総合政策学部 古谷知之准教授をお招きし、事例を交えて放射線量のマッピングにおける GIS の重要性をご紹介します。

■開催概要

【名 称】	放射能モニタリング&マッピングセミナー
【会 期】	2011年8月25日(木) 10:00~17:00 (受付開始 9:30)
【会 場】	JA 共済ビル カンファレンスホール 1F ホール AD (東京・永田町)
【主 催】	ESRI ジャパン株式会社
【対 象 者】	放射線量のモニタリングやマッピング業務に携わる方
【参 加 費】	無料 ※事前登録制
【お 申 込】	http://www.esrij.com/events/e20110825_hosyano_mapping.html ※競合製品、及び類似製品の事業に携わっておられる方の参加はご遠慮下さい。

■プログラム

10:00-11:00	「GISによる環境モニタリング(データ収集、処理、管理、分析、マッピング、公開)入門」 ESRI ジャパン株式会社 コンサルティングサービスグループ 部長 濱本 両太
11:00-12:00	「空間統計学の基礎(仮)」 慶應義塾大学 総合政策学部 准教授 古谷 知之氏
12:00-13:00	昼休み
13:00-14:00	「チェルノブイリ原子力発電所事故の際の放射能モニタリングとマッピング事例」 米国 Esri 社 上級研究員 Dr. Konstantin Krivoruchko
14:00-17:00	「放射能マッピングに最適な内挿補間手法の紹介とその利用事例」 米国 Esri 社 上級研究員 Dr. Konstantin Krivoruchko 慶應義塾大学 総合政策学部 准教授 古谷 知之氏

■Dr.Konstantin Krivoruchko 氏プロフィール

応用空間統計学の専門家。1997年より、Esri 社にて ArcGIS Geostatistical Analyst の開発や研究に従事して、GIS 分野における空間統計の第一人者である。Esri 社に加わる前は、ベラルーシ(当時:ソ連)の GIS laboratory at the Sakharov Institute of Radioecology の責任者であり、チェルノブイリ原発事故においては、政府の科学顧問として様々なデータの分析に関わった経歴を持つ。

■ ESRI ジャパン株式会社について

商号:ESRI ジャパン株式会社

設立:2002年(平成14年)4月1日

代表者:代表取締役社長 正木 千陽

主な事業内容:GIS ソフトウェアの販売、及び関連サービス(保守、トレーニング、コンサルティングサービス)の提供

本社所在地:〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-1 塩崎ビル

Tel: 03-3222-3941 Fax: 03-3222-3946

ESRI ジャパンホームページ: <http://www.esrij.com/>

米国 Esri 社ホームページ: <http://www.esri.com/>

■ この件に関する問合せ先:

ESRI ジャパン株式会社

Tel: 03-3222-3941 Fax: 03-3222-3946 E-mail: gisinfo@esrij.com
